

西伊豆町の手筒花火を初披露

姉妹町の議員交流がきっかけで



高さ約7メートルの火柱を吹き上げて伝統の手筒花火を披露する一色青友会のメンバー

◆手筒花火
孟宗竹にゴザと荒縄で作った長さ60センチの筒に火薬を詰め、手で持つて火をつけ、空に向かって火炎を噴き上げます。一色青友会会員は真っ赤な火の粉をかぶりながら、数十秒間じつと筒を持ち、最後に「ドカーン」という爆発音で終了します。

西伊豆町は材料費、宿泊費などで115万円、富士見町は実行委員会への補助金として50万円を予算化しました。手筒花火を通じて議員間の友好が深まり、姉妹町の絆は一層強まりました。
(川合弘人)

富士見町と、姉妹町の静岡県西伊豆町の両町議会議員交流がきっかけで、今年の夏祭り「富士見OKKOH」(7月30日)に、西伊豆町の手筒花火が初めて披露されました。

伝統の技を受け継ぐ「一色青友会」の11人が訪れ、竹筒を抱えながら手筒花火を多目的グラウンドで打ち上げました。火柱は最大で約7メートルも吹

き上がり、踊り連や観客を魅了しました。昨年12月に富士見町議会の全議員が西伊豆町を訪れた際、両町の議員間で手筒花火が話題になり、「富士見の町民に見せたい」と提案されました。藤井武彦町長も賛同。両町で協議の結果、富士見OKKOH実行委員会の協力も得られ、多くの町民が集まる富士見OKKOHでの披露となりました。

き上がり、踊り連や観客を魅了しました。西伊豆町を訪れた際、両町の議員間で手筒花火が話題になり、「富士見の町民に見せたい」と提案されました。藤井武彦町長も賛同。両町で協議の結果、富士見OKKOH実行委員会の協力も得られ、多くの町民が集まる富士見OKKOHでの披露となりました。

【編集後記】

9月の定例議会は前年度決算を審議し、29年度予算に反映すべき重要な議会となります。

今回上程された補正予算1億円弱の内、I

T関連の2500万円を除いた修正案が可決されました。晴天日が非常に少ない9月の異常気象の前兆だったのでしようか。この号が

発行される頃には、町内各地の御柱小宮祭も終焉を告げているかと思います。町の為町民の為、何が必要で何が不要か、常に議論し前進する議会を目指します。

(議会広報編集委員 五味高幸)

議会傍聴感想

□一般質問を傍聴していくも感じることですが、傍聴者が少ないことです。議会改革として、インターネットやケーブルテレビ中継の活用を検討してみてはどうでしょうか。また、一般質問の質疑応答の内容が、傍聴席からはっきり聞き取れない箇所がありました。議場の音響システムに不備があり、マイクの使い方にも問題があると思います。

南原山 小林亀太郎(91)

□初めて町議会を傍聴しました。今現在、町政は何をやろうとしているのか、何が問題なのか、そして今後どうなって行くのかを知り得ることができて良かったと感じました。私達町民ももっと積極的に町政に関心を持ち、関わって行かなければ、富士見町の未来を魅力ある豊かなままで次世代に残して行けないと思います。

広原 渡辺勢津子(60代)

<富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.145】 平成28年11月1日発行 発行：富士見町議会／編集：議会広報編集委員会

委員長：川合弘人／副委員長：矢島尚／委員：五味高幸 小林市子

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777

TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp